

シネマズライフ

2012年4月20日発行 第14号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

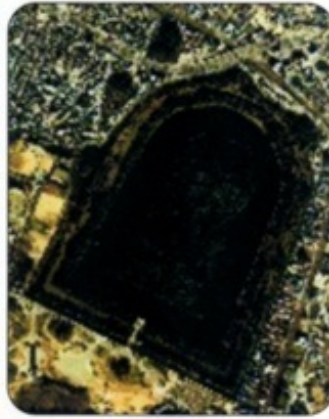
貴樹 諒音(たかぎ りおん)

映画の風景 日本の風景

※ 大阪府堺市・仁徳天皇陵 ※

映画は太古の昔から日本に生息する『ヒルコ』や『経子』が、昔から守られていた小さな古墳に封じ込められていた話だ。古墳にうごめくヒルコは人々に恐れられる存在だったのだ。日本の古墳は、その土地の豪族が作った墓とも天皇の墓とも言われおり、葬る時にはその中心部で祭式を行われていたそうだが、しかしそれは本当に単なる埋葬だけに作られていたのだからか？もつと、何か恐ろしい物を封じ込める為に作られていたのではないだろうか？

お墓としてのヒルコが世界一という仁徳天皇陵を見て、そう思えてしまうのだ。



『ヒルコ』妖怪ハンターという映画があった…こんな映画だ。考古学者の神田礼二郎は、ある異論を主張した為、異端の考古学者と言われていた。ある日、異兄弟で中学校教師の八部から手紙をもらう。『ヒルコ』は、学芸祭で、異形の向かい方・まさおとヒルコと

「ヒルコ」は、学芸祭で、異形の向かい方・まさおとヒルコと

『ヒルコ/妖怪ハンター』 1991年日本 監督：脚本 塚本晋也 原作：諸星大二郎 主演：沢田研二 工藤正貴 竹中直人 室田日出男

お話は日本の成り立ちにも深く関わっています。それがこの映画の魅力でもあります。

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！



『豆富小僧』

WOWOWプライム

2011年 日本

総監督・脚本：河原真明 監督：河原真明

出演：深田恭子 武田鉄矢 小池徹平 大泉洋 宮迫博之

5月4日(金) 13:00 5月21日(月) 11:30

むかしむかし、妖怪が自由に生きていた頃。見越し入道の息子、豆富小僧は一生懸命人間を驚かすのだが、あまりにかわいらしくて誰も怖がらない。見越し入道は怒るがかわいらしいのだからしかたがない。しかし、豆富小僧にしてみたら辛い日々。ついにおっかさんを求めて家を出してしまう。

そんな彼に怪しい畏を仕掛けるのが、妖怪達のライバル・狸達。豆富小僧が慕う母親の幻影を見せ、小さなお堂にお目付役の達磨と共に閉じ込めてしまう。

そして現代。自然破壊の末、お堂が壊され豆富小僧はやっと開放されるが、そこは自然もなく人間がひしめき合いその上、密かに狸達が人間を操る世界だった…。

なんととっても魅力的なのは、豆富小僧のかわいい深田恭子の声と、ユニークな妖怪と狸達。ほんとにこんな妖怪達は身近にいれば楽しいでしょうね。

お話は『妖怪大戦争』に繋がる妖怪映画、現代の拝金主義・科学至上主義批判の映画なのです。

『鴨川ホルモー』

チャンネルNECO

2009年 日本

監督：本木克英 原作：万城目学

出演：山田孝之 栗山千明 濱田岳 石田卓也 声名星

4月21日(月) 21:00 4月26日(土) 21:00

春・京都大学に入学した安倍は、コンパに誘われそこに参加していた美女に惹かれつい《京大青竜会》というサークルに入会する。入ってはみたものの、当初は何が目的かがよくわからなかったのだがやがてサークルの目的が発覚！

京都で千年続く謎の祭り“ホルモー”を行う為のサークルだという。この祭りは《鬼や式神》を使って争うというのだが、安倍達新入生には理解できない。半信半疑で特訓を始めるが、やがて吉田神社に呼び出され、儀式を行い《鬼や式神》が見えるようになった安倍達は“ホルモー”にのめり込んでいく…。

女子に釣られてサークルに入る安倍に山田孝之・結構エキセントリックな高村に濱田岳・密かに安倍を愛する女子、楠木に栗山千明と今では、トップを走る俳優も多数出演しています。

さて、“ホルモー”とは何？理由はさておき何かに夢中になる事はよい事なのです。

★【最近のこれはお見事！】は、見事な映画の題名の紹介しませんが反して、最近のこれはまずいぞー！は、これは、まずいぞー！と思う映画の題名を紹介しします。

★ ネットでも読める『ミ』誌です。主に映画の紹介とコラムです。よろしかったら、コメントで感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします！

m(c.)m

貴樹 諒音

※ 貴樹 諒音 ※ cinemaz-life@movie.nifty.jp ※ 告知ブログ ※ <http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/>

発行予定は第一・三金曜日

次回発行は2012年5月4日です。

【最近のこれはまずいぞ！】『隣る人』《となるひと》と読むらしい。題名で注目集める作戦のようだが、簡単に読めないのも考えもの。

2014年 アメリカ・フランス・イギリス 映画：「宇宙人ボール」 出演：サイモン・ペック モック・フロスト 声：ロス・カケン

イギリス人のSF作家 クライヴとイラス トレーターのグレアムはアメリカの「コミコン」に参加する為に来日。ついでにレンタカーでアメリカ西部のUFOスポットを巡りを計画し、こきげんで車を走らせていた。

ところが、ネバダ州のエリア51付近で暴走する車に遭遇！車は横転し、中からなんと宇宙人が現れる、名前はボール。60年前、UFOが地球に不時着してしまい、エリア51にずっと拘束されていたというのだ。数々の知識をアメリカに教えたボールだが、どうも最近自分が解剖されるといふ情報を得て逃げてきたというのだ。そこで、二人に迎えのUFOが来る場所を送ってほしいと頼まれる。最



この向うにボールの故郷があるかも…。

初は驚くクライヴとグレアムだったが、そこはそれUFOオタクの二人。ボールの逃亡に協力する事にする。しかし、彼を拘束していた組織は彼をほっておくわけがない。捜査官ゾイルを派遣してボールの抹殺を狙うが…。

人間より人間らしい宇宙人・ボールと人間としてどうかと思うクライヴとグレアムの珍道中でアメリカの問題点も垣間見れて面白い。実生活でも仲のいいサイモン・ペック、ニック・フロストが脚本を書き、なかなかよく共演。『第9地区』もそうだが、ハリウッドも《楽しんで》作る映画がヒットするようです。やはり、映画などの娯楽は《楽しんで》作るのが一番いいですね。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema

コラム 許容範囲って意味を辞書でちよつと引いてみる。後編

なにやら、すごい事を言っている。明るい雰囲気がある。有名人が多数応援している。あの人が応援しているから大丈夫だ…などと思っている人も多いようで、自分の考えがあるようである。実は他人に思考能力を委ねているようにしか思えない。特に今や時代の寵児となつている『維新の会』代表の橋下氏を指示する有名人が多く、なぜか「彼に期待する！」、「すばらしい人材だ！」と連呼し、結構信じている人達が多いのも確かだ。



なかよしくよく知っているからって何もかも信用していいものかい？

政治家・評論家・コメンテーター…誰が本当の事を言っているのか、いや、日本の為のなる事を私達に教えられてくれている人は誰なのか？ さっぱり、わからなくなっている。マスコミが悪い？ ニュースが正しい事を言っていない？ インターネットで多様な情報が流れすぎているのだろうか？

確かに、インターネットでも、ツイッター・フェイスブックなどでいろいろな人が意見を語り、情報があまりにも多すぎて、どれを信じていいものかわからない。もう、人々の『許容範囲』を越えているのだ。人には確かに『許容範囲』がある。しかし、これからの生活に關わっている事には、『許容範囲』を越えて見る努力も必要だと思ふのだ。

☆ もうすぐ五月だといふのに、不安定な日々が続いています。太陽が北極と南極が逆転途中だからか、日本の民主党政権が機能不全に陥っているからか！どっちにしろ、この不安定な気候が一番問題、皆さまご養生してくださいませ。

※編集後記※

☆ さて、四つのリモコンに悩んだ私は、箱に入れたのはいいが、縦に並べて裏から見るとどれがどれかわからない。そこで、サラララップと透明テープで包んだリモコンに色付きテープを貼り、前と後ろに何

Blu-ray Discのリモコン
もちろんリモコン毎にテープの色を変えます。で、これを使い勝手がよくなったかというところ、そうでもなく、それぞれのリモコンの機能もリンクしていたりしてこちらのリモコンを切るとあっちのテレビが切れるなんて事があったり、頭をひねりながら毎日テレビとDVDライフを送っている私なのでした。

CATVのリモコン
CATVのリモコン



テレビのリモコン

【最近のこれはお見事！】『今日も僕は殺される』『それなら早く！逃げなされ！』

シネマズライフーcinemaz-lifeー14号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

《WOWOWプライム》

http://www.wowow.co.jp/pg_info/detail/100750/index.php?m=01

《チャンネルNECO》

http://www.necoweb.com/neco/program/detail.php?id=1571&category_id=2

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。

m(_)_m ダウンロードで鑑賞できます。 m(_)_m

http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

§§§

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§§§

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.